

1. 事業の位置付け

事務事業名	博物館教育普及活動推進事業		
事業担当	社会教育部 博物館		
予算科目	01-100504-020000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
地域の埋もれた情報を掘り起こし、発信することにより、市民の知的満足が得られています。		市民の生涯学習に役立てるため、体験学習、各種の講座、野外教育活動などを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	行事開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			340	340	340			
活動指標②	指標名	テキスト作成部数						単位	部
	説明・算定式	教育活動用テキスト作成部数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			150	150	150			
成果指標①	指標名	参加者満足度						単位	点
	説明・算定式	5段階評価のアンケート							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			4	4	4			
成果指標②	指標名	教育活動参加者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			6,500	6,500	6,500			
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
教育普及活動に重きをおいた新しい地域博物館を目指して、特別展示室、講堂、科学教室、プラネタリウム室等を活用して事業を展開するとともに、野外教育活動、広報、出版活動等の充実を図った。プラネタリウムの投影は、市民向けに隔月にテーマを変え、幼児投影、学習投影を市内外の保育所・幼稚園、小学校の利用にも応じて開催した。「銀河鉄道の夜」の上映が好評を博した。演劇公演2回、ライブコンサートを開催し、好評だった。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地域の自然や歴史への興味関心にこたえとともに、市民と協働して未来に残すべき自然環境、歴史遺産等の必要性を説く必要もある。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	教育普及活動は継続していくことで地域の変化を理解したり、語り継ぐべきことを伝える機能がある。学校教育の内容に合わせたり、地域防災などの関心の高いテーマに合わせた取組など市民満足度は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	教育普及活動に重きをおいた新しい地域博物館を目指して多くの事業を市民と協働して事業を進めて、成果をあげている。各分野1名ずつの学芸員体制は必要とされる場所である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業の効率的な推進のために研究活動などで集められた情報を管理運用する独自システムを運用している。これにより多種にわたる活動で情報共有を可能にしている。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		学芸員の世代交代がある際に、地域情報の受け渡しが円滑にできるシステムの構築を考え、そのなかで効率的に教育普及活動を推進する必要がある。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				体験学習、各種講座など教育普及活動の実施	体験学習、各種講座など教育普及活動の実施	体験学習、各種講座など教育普及活動の実施		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	567	183	183	0	0
	一般財源	0	0	31,565	25,533	32,082	0	0
事業費 (A)		0	0	32,132	25,716	32,265	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	99.59				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	3.85	3.85	3.85	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	32,306	32,306	32,306	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	64,438	58,022	64,571	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 体験学習、各種講座など教育普及活動の実施を継続的に実施するとともに、世界天文年等、国内外の動きに応じた事業展開を図る。利用される市民の要望にこたえていくため、老朽化したプラネタリウム施設の補修、更新を進めていきたい。	
平成21年度取組方針	
体験学習、各種講座など教育普及活動の実施を継続的に実施する。世界天文年等、国内外の動きに応じた事業展開を図る。利用される市民の要望にこたえていくため、老朽化したプラネタリウム施設の補修、更新を進めていきたい。	
課長コメント	普及事業の推進と市民との協働を展開することで、市民力・地域力を上げ、活力あるまちづくりに貢献できるものとする。